

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護 サービス株式会社	代表者	柳澤 秀樹	法人・ 事業所 の特徴	今できていることを奪わない、ということを常に意識した支援を行っている。集団で何かを行う場面は少なく、利用者様がしたいことをしたいように過ごせるよう見守っており、それぞれがそれぞれの時間の流れの中で過ごされている。訪問時も家事等代行するのではなく、自分でできるための支援にこだわってサービス内容を検討している。その人のその時の状況に合わせて、送迎時間や訪問時間を調整し対応している。独居の方の栄養状態改善のため、利用登録者に限り配食のサービスも提供しており、自宅での生活を総合的に支えられるよう努めている。独居の方では、体調不良の時に限り宿泊を利用し、不安なく療養できるようにしている方もある。
事業所名	あったかほ一む稲葉	管理者	松澤 幸広		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	人	1人	人	人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・コロナ禍ではあるが、外部研修ができるようになるまで、内部研修をし、学びの時間を増やす。	・外部研修には、積極的に参加できていない。	・パソコンやネットワークシステムの活用で事業所内の情報共有する仕組み等の整備で、より職員間の意見が反映できるかと思えます。 ・「前回の改善計画」が具体的に記録されていない。意識的な表記が見られ「取組結果」においても評価が困難に感じた。 ・「次回までに具体的な改善計画」も感想が記載されているものもあり、評価を見控えて具体的な記載をする必要があると感じた。	・利用者様のニーズを知る為に、柔軟な考えで本人の声、家族の声、職員間の話し合いでの声を聴くことで利用者様の姿を知る努力をする。
B. 事業所のしつらえ・環境	・過ごしやすい環境になっているか。定期的に確認を行う。	・定期的な確認は行っていた。	・事業所内部の運営は知りません。 ・環境整備の取り組みがサービスの質につながってゆける。	・観葉植物などを増やし、狭い空間ではあるが癒しの空間を作っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	ワクチン接種が済み、コロナが落ち着き次第、出来る限りお茶のみサロン(再開したら)などに一緒に参加させて頂く。	・コロナ感染が落ち着かず、地域行事などに参加できていない。	・地域との関わりについては、情報交換が必要だと思えます。 ・コロナ禍の中、地域行事やかかわりが希薄している中、できるだけ工夫し(オンラインの活用等)社会とつながりを保ってほしい。包括もできるだけ一緒に地域づくりを支援させて頂きます。	・コロナ感染が落ち着かない中、考え方を換え、運営推進会議など、オンラインの活用を計画・実行していく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ワクチン接種が済み、コロナが落ち着き次第、出来る限りお茶のみサロン(再開したら)などに一緒に参加させて頂く。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の関わりが希薄になってしまった年だったので、来年度は少しずつ変えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりについて、地域側でも、関わりを深める努力を要すると思います。 ・利用者、家族と近隣住民、民生委員等チームでの支えをどう取り組むべきか一緒に今後検討してゆく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、事業所としてどう関係を深めていくか、検討していく。(オンラインの活用等)
E. 運営推進会議を活かした取組み	コロナ禍ではあるが、できる限り状況報告を行う。情報発信を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・書面開催で全て行っていた。来年度はオンラインなどを使って工夫していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の為、開催されていません。 ・地区自治体等また包括への報告の中で、コロナ禍での会議が今後オンラインの活用で開催出来る事を望んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が当たり前の世の中になり、オンラインで定期的開催できるようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	新規職員もいる為、避難経路・避難場所をスタッフ全員が周知する。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内では、訓練はできていたが、地域の自主防災には参加していなかったため、来年度は参加していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画・防災訓練について、地域との情報交換を望みます。 ・防災・災害は日ごろからの訓練を。意識改革です。事業所内だけでなく、地域住民からの協力や周辺の企業への周知協力を実施してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練は実施されているので、積極的に参加していく。